

2023年2月2日

日本銀行岡山支店

岡山県金融経済月報

(2023年2月)

1. 概況

県内景気は、海外経済の減速等の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで、緩やかに回復している。

最終需要をみると、個人消費は、緩やかに増加している。設備投資は、増加している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

県内主要製造業の生産は、海外経済の減速等の影響から、足もとでは弱めの動きとなっている。

雇用・所得環境をみると、労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに改善している。

2. 実体経済

(1) 最終需要

個人消費は、緩やかに増加している。

百貨店・スーパー売上高は、増加基調にあるが、足もとでは増加ペースが鈍化している。乗用車販売は、持ち直しの動きがみられる。家電販売は、横ばい圏内の動きとなっている。

この間、主要観光地への入り込みは、全国旅行支援の効果もあって、増加している。

設備投資は、増加している。

12月短観調査における2022年度の県内企業の設備投資額（全産業）は、増加計画となっている。

住宅投資は、弱めの動きとなっている。

公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

(2) 生産

県内主要製造業の生産は、海外経済の減速等の影響から、足もとでは弱めの動きとなっている。

主要業種の生産動向をみると、化学や鉄鋼は、中国経済の減速等の影響から、なお弱めの動きとなっている。電気機械は、スマートフォンやパソコン等のグローバルな需要の減退から、減少している。この間、輸送用機械は、供給制約の影響が和らぐもとで、徐々に持ち直している。

(3) 雇用・所得

労働需給は引き締まっており、雇用者所得は緩やかに改善している。

(4) 物価

消費者物価（岡山市、生鮮食品を除く総合）の前年比は、4%程度となっている。

(5) 倒産

12月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、倒産件数、負債総額ともに前年を下回った。

3. 金融

県内実質預金、県内貸出は、ともに緩やかに増加している。貸出約定平均金利（総平均）は、緩やかな低下傾向にある。

以 上

内容についてのご照会は下記までお願いします。

〒700-8707 岡山市北区丸の内1-6-1

日本銀行岡山支店総務課 電話 086-227-5111（代表）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/okayama/>



知る ぼると
岡山はこちら!!

